



# 立正大学 デリバリーカレッジ

第1回 11月1日(火)10:00~11:30

**“幸せ”とは何ですか？**

～変革の時代に“真の幸せ”を考える～

立正大学社会福祉学部元教授 堺 正一

第2回 11月8日(火)10:00~11:30

**高齢ドライバー問題**

立正大学心理学部教授 所 正文

日 時:2022年11月1日・8日 火曜日 (全2回講座)  
10:00 ~ 11:30

定 員:30人(応募多数の場合抽選)

対 象:市内在住・在勤・在学の方

会 場:千葉市生涯学習センター 地下1階 小ホール

応募締切:10月14日(金)

■申込み・問合せ■

〒260-0045 千葉市中央区弁天3-7-7 千葉市生涯学習センター 学習推進グループ  
電話 043-207-5820 E-mail : manabi.kouza@ccllf.jp



主催 千葉市生涯学習センター

## ◇講演概要◇

第1回 2022年11月1日(火)

“幸せ”とは何ですか？～変革の時代に“真の幸せ”を考える～

立正大学社会福祉学部 元教授 堺 正一

戦争体験者であるアンパンマンの作者やなせたかしは「生きていることが大切なんです。今日まで生きてこられたなら、少しくらいつらくても明日もまた生きられる。そうやっているうちに次が開けてくるのです。今回の震災も永遠に続くことはありません。」と言って、多くの人たちを勇気づけている。今日いわゆる「幸福論」が花盛りである。

紙芝居「生きているってすばらしい！ -塙保己一の青春」上演予定(講談「天満宮と下駄の鼻緒」から)しかし、未曾有の東日本大震災・原発事故は人々の幸福観に多かれ少なかれ影響している。テレビ等のインタビューで、家族や家、さらに仕事まで失った被災者からの最初のひとことが「感謝」であることに、心を動かされた人は少なくないにちがいない。これまで幸福の条件として当然のこのように考えていた名誉、地位、財産等々が本当にそうであるのかの再吟味が求められる時代に私たちは生かされている。日本の自殺者が3万人を割ったと言って喜んでいてよいのだろうか。

第2回 2022年11月8日(火)

高齢ドライバー問題

立正大学心理学部教授 所 正文

高齢ドライバーの交通事故問題は、大きな社会問題になっているが未だ有効な解決策が見いだせていない。理由は、生活手段として自動車が必要不可欠である地方社会と、公共交通機関が充実した東京などの都市部において、一律の規準で対策検討が進められているからである。高齢者に対して運転免許の返納を迫るだけでは問題解決にはならず、その後の生活支援を含めた総合政策の速やかな施行が求められる。安易な自動運転車の開発に期待を寄せる向きもあるが、地方社会の軽自動車には導入不可能であり、対策にならないことを知らない人が多い。地方社会の高齢者の目線に沿って、この問題を共に考え、当面やれることを提案したい。また、高齢社会の進行は必ずしも日本だけではないが、何故日本社会で有効な対策が打ち出せないのか、欧州社会と比較しながら考えていきたい。

【申込方法】 下記の必要事項をご記入の上、**往復はがき又はEメール**でお申し込みください。

〈必要事項〉 ①講座名「立正大学デリバリーカレッジ」 ②氏名(ふりがな) ③年齢

④〒・住所 ⑤電話番号

※Eメールでお申込みの方へ

迷惑メール対策等のための設定をされている場合、メールが正しく届かないことがあります。

[manabi.kouza@ccllf.jp]からのメールを受信できるように設定をご確認ください。

申込日より4日過ぎても応募受理の連絡がない場合は、お問い合わせください。

【申込み・問合せ】

〒260-0045 千葉市中央区弁天3-7-7 千葉市生涯学習センター 学習推進グループ

E-mail: manabi.kouza@ccllf.jp TEL:043-207-5820

施設内での新型コロナウイルス感染症予防対策と、以下の点についてご協力ください。

- ①受講前に検温していただき、受講の際マスクを着用してください(未就学児は除く)。事情により、マスクの着用ができない場合は、あらかじめご相談ください。
- ②当日の受付時に検温を実施し、37.5度以上または平熱+1度以上の場合は参加をお断りします。
- ③体調不良や感染が疑われる場合は、参加をご遠慮ください。また、講座をキャンセルされる場合は、担当職員までご連絡ください。